

南越 第五〇号

南越文化財研究協議会（会長、鯖江市河和田町 杉本伊佐美）刊行の機関誌『南越』は、昭和二十九年（一九五四）の創設以来五〇号を数えるわけで、今回はまさに記念特集号ともいえる。

内容を掲載順に紹介すると、三上一夫「幕末の越前藩の海防意識の今日的課題」山口久三「思い出『民俗雑話』」(三) 笈田清士「泰澄大師について」 笹木一治「日本の史書の動向について」、小林巖・安達実積・品川主計「一家一言」、杉本伊佐美「文化財めぐり（小浜市から高浜町へ）」、

植山つる「嶺南の文化財見学に参加して」、田島由貴「中山寺の馬頭観音を拝観して」、西塔松月「見修地百景」、斎藤槻堂「でんすけ音頭」、「文化財ニュース」（各地にできる公共施設）、杉本伊佐美「若越今昔・よもやま話」(四)、杉本寿「越前国式内式外社の研究」(一)等で、いずれも地域の歴史にかかわる啓蒙的かつ興味ぶかい論稿や随想・紹介文等が精一杯配慮されている。購読希望者は、同協議会事務局（鯖江市河和田町 杉本伊佐美方）に申し込むこと。（三上記）